

みえ ケアマネ通信

2025年度 三重県介護支援専門員協会 総会



令和7年6月15日(日)開催

三重県介護支援専門員協会総会・記念講演について

この日の記念講演では、現代社会における複雑な支援ニーズ、特に高齢者の親と中高年の子が同居する世帯(いわゆる「8050 問題」)に焦点を当て、その支援の現状と課題、今後に向けた連携のあり方について話されました。

二つの事例を通して既存の支援体制の限界とより深い利用者理解、専門職連携の必要性を浮き彫りにしています。

事例 A は脳梗塞の父とアルコール依存症の母を支える不登校の娘のケースです。両親には医療機関やケアマネジャーが関わっていますが優先すべきことは娘への関わりがあることが支援チームの共通認識でありどのように支援していくかが課題とされています。

事例 B は在宅での生活を望む高齢者と支援者の葛藤のあるケースで、本人は病状の管理が出来ず入退院を繰り返しているが身内に迷惑をかけたくないと同居を拒んでいます。連携会議が行われてはいるもののサービス調整に焦点が当てられがちで、本人の深層にある感情やニーズ、そして中長期的な視点での支援内容が十分に議論されていないことが課題とされています。

さらに講演では「8050 問題」を単に「高齢者の親と中高年の子が同居している状態」と捉えるのではなく「世帯構成員の誰かが個別課題を抱え、かつ社会資源の活用だけでは問題が解決しない状態」と定義し、その上で支援を考えることの重要性が述べられました。事例のような複雑な支援ニーズに対応するためには、表面的なサービス調整に留まらず利用者の真の感情や背景を深く理解しそれに寄り添うことが不可欠であることが強調されました。また医療、介護、福祉の領域間の「縦割り」を乗り越え、多様な専門職が共通の目標を持ち密接に連携する「チーム支援」を構築していくことの重要性を強く訴えかけています。

そして地域に存在するインフォーマルな資源をも活用した柔軟で創造的な支援の可能性も示唆される内容でした。

写真で振り返る総会の様子



会場の様子



奥田会長挨拶



井谷議長挨拶



長岩先生からのプレゼント♪



長岩先生記念講演



長岩嘉文氏

令和7年6月29日(日)開催

日本介護支援専門員協会、柴口会長が5期目続投へ

～～第17回社員総会で役員改選、処遇改善へ署名22万筆超を報告～～

日本介護支援専門員協会は6月29日、都内で第17回社員総会を開催しました。総会では、令和6年度事業報告・決算、役員選任などの議案がすべて承認されました。

役員改選期にあたり、会長候補者理事は投票を経ずに承認され、柴口里則会長の続投が決定しました。全国選出理事選挙では代議員による投票が行われ、その結果、三重支部の山田剛氏がトップ当選を果たしました。柴口体制は5期目に入り、当面の介護報酬改定や介護保険制度改正への対応を最重要課題に掲げました。



柴口会長の方針

続投決定後の会見において、柴口会長は次のように述べました。

- ・「処遇改善をなんとしても実現したい。介護支援専門員の意見をしっかりと受け止めて発言していく」
- ・ 居宅介護支援の基本報酬引き上げを強く求めていく

協会執行部にとって、今後の最重要ミッションは「介護報酬改定・介護保険制度改正への対応」であると表明されました。

また、協会が5月から取り組んでいる処遇改善を求める署名活動について、6月26日時点で22万7千筆以上が集まったと報告されました。「大きな成果」と評価し、今後は政府に現場の声を届け、具体的な改善策の実現を働きかけると伝えていただきました。

☆新コーナー☆ 支部紹介 第1回は、松阪支部です♪♪

県内にある9支部の紹介をリレー方式で繋いでいくコーナーです！！

三重県介護支援専門員協会松阪支部/文責:青木浩乃

私たち松阪支部は、松阪市と多気郡内に住所又は勤務先のある介護支援専門員(ケアマネジャー)が加入する、会員数が290名を超える県内で最も大きな支部です。総勢33名の理事で構成された理事会を中心に、「研修部会」「行政連携部会」「調査研究部会」「広報部会」の4部会を、4名の副支部長と部会長が中心となって運営し、大変活発な支部活動を展開しています

・2024年度松阪支部研修会回数:9回

松阪支部研修参加延人数:685名(1回平均76名)

松阪支部研修会満足度ランキング♪(満足度平均86%)

- 1位(100%):松阪地区薬剤師会との合同研修会
- 2位(97%):「バウンダリー(境界線)を切り口に学ぶ、クレーマー・カスハラ対応の具体策」
(講師:AIDERS代表 公認心理士・精神保健福祉士 山崎正徳氏)
- 3位(96%):「災害時の備えを考える～能登半島地震から1年～」
(講師:松阪市民病院訪問看護ステーション 管理者 中嶋奈穂子氏)

◆2024年度 松阪支部研修会アンケートより

			性別		
	参加人数	回答数	男	女	回答しない
1	112	38	8	30	0
2	99	43	12	13	1
3	77	39	10	29	0
4	57	12	6	6	0
5	100	40	9	30	1
6	60	34	5	29	0
7	67	27	5	22	0
8	65	25	4	20	1
9	48	19	3	15	1
			男性	女性	回答しない
	685	277	62	194	4
%			0.224	0.7	0.014



松阪市健康フェスティバル ブースを出し、支部PRしてまーす！

年齢					経験年数				
20代	30代	40代	50代	60代	1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10年以上
0	3	13	16	6	5	3	4	12	14
0	1	17	14	11	4	5	3	13	18
0	2	15	15	7	4	2	7	11	15
0	0	9	3	0	2	1	3	6	0
0	2	15	16	7	3	4	3	12	18
0	3	10	14	7	2	5	2	12	13
0	2	10	9	6	1	1	5	7	13
0	0	8	10	7	1	0	1	8	15
0	0	6	9	4	1	1	1	5	11
0	13	103	106	55	23	22	29	86	117
0	0.047	0.372	0.383	0.199	0.083	0.079	0.105	0.31	0.422

満足度						
大変満足	満足	満足人数	%	普通	不満	大変不満
7	17	24	0.632	10	4	0
11	20	31	0.721	10	1	1
20	18	38	0.974	1	0	0
8	4	12	1	0	0	0
22	16	38	0.95	2	0	0
19	10	29	0.853	5	0	0
15	11	26	0.963	1	0	0
16	8	24	0.96	1	0	0
10	6	16	0.842	3	0	0
128	110	238		33	5	1
0.462	0.397	0.859		0.119	0.018	0.004

研修会の様子



様式ダウンロード

Download

入院時連携シート

PDFダウンロード>

Excelダウンロード>

主治医連絡票

PDFダウンロード>

Excelダウンロード>

主治医へのサービス担当者会議出席依頼

PDFダウンロード>

Excelダウンロード>

主治医への軽度者に対する福祉用具貸与に関する確認票

PDFダウンロード>

Excelダウンロード>

薬剤師とのコミュニケーションシート

PDFダウンロード>

Excelダウンロード>

入会申込書

PDFダウンロード>

Wordダウンロード>

個人会員登録変更届

PDFダウンロード>

Wordダウンロード>

DVD貸出書

PDFダウンロード>

Excelダウンロード>

ダウンロード前にお読みください

◆会員に支部特製ふせんを配布



ホームページを活用しています！！

会員への新着情報
研修案内、資料配布
支部で使っている様式のダウンロード
研修記録、研修 DVD の貸し出し
前年度のアンケート結果
入会案内等々

ホームページQR



◆病院連携一覧表のご紹介

毎年度 1 回、支部総会に合わせて病院連携一覧表を更新し、会員に公表しています。

病院連携一覧表 (令和7年4月1日現在)

連携室の名称	医療福祉相談室（患者総合支援センター内）	退院前カンファレンスの依頼先	介入ケースは病棟担当MSW、退院調整Ns（連携シート持参の場合）
連携室の場所	1階	介護保険申請代行の可否	可 能 ・ 不 可
電話受付時間	平日 8：30 ～ 16：30	主治医との面談依頼先	入院患者：原則病棟（患者家族の同意を得たうえで）
電話対応困難な時間帯	上記時間帯以外（時間内でも面談などですぐに対応できない時あり）		外来患者：原則外来（患者家族の同意を得たうえで）
電話番号（代表）		主治医連絡票の提出先	各科外来受付
電話番号（直通）	() -	指示書・診療情報提供書等の依頼先	各科外来受付
FAX番号（代表）	※平日8：30～16：30のみ	外来患者の相談窓口（有の場合は窓口名）	有 まずは各科外来 ・ 無
FAX番号（直通）	() -	備 考	*主治医との面談は基本的には、患者家族の同意を得て、診察や病状説明に同席されるのが望ましいです。 ◆FAX送信方法 ・送信前または後に医療福祉相談室へ確認の電話を入れてください。 ・できれば、送付前に本人や家族に了解をとってください。 ◆「診療情報提供書」を含め各種文書の作成を依頼する場合 ・本人や家族が各科外来にて書類を持参した上で、作成申込みしてください。
メール対応の可否	可 能 ・ 不 可		
メールアドレス（対応可能な場合）	(相談以外の連絡時にお使い下さい)		
入院時連携シートの提出先	医療福祉相談室・患者の入院病棟		
入院時連携シートの必要枚数	2 枚		
病棟面会時間	原則 14：00～19：50		
面会前の事前連絡の要否	原 則 必 要		
面会時の手順	事前に電話で、担当利用者の氏名・生年月日を電話交換手に伝えていただくと、病棟担当者に電話がつながります		

	担当者名	職種（呼称）	業務内容等（退院調整や病診連携など）	備 考
◎		入退院調整看護師	退院調整など後方支援	各病棟担当者が窓口になります。面談などですぐに対応できない場合は折り返しお電話など差し上げます
		社会福祉士	退院調整など後方支援、医療費相談など	
		社会福祉士	退院調整など後方支援、医療費相談など	
		社会福祉士	退院調整など後方支援、医療費相談など	
		社会福祉士	退院調整など後方支援、医療費相談など	
		社会福祉士	退院調整など後方支援、医療費相談など	
		社会福祉士	退院調整など後方支援、医療費相談など	
		社会福祉士	退院調整など後方支援、医療費相談など	
		社会福祉士	退院調整など後方支援、医療費相談など	
		社会福祉士	退院調整など後方支援、医療費相談など	

◎：担当者が不明の時、最初の相談窓口になってくださる方 三重県介護支援専門員協会 松阪支部

☆次回の支部紹介は紀南支部です！！ 紀南支部の皆さんよろしくお願いしま～す♪♪

低価格で研修しているのは、全国的にみても三重県だけでは？！

初任者から主任クラスまで対応している研修会をほぼ毎月実施中！！ ぜひご参加下さい♪

研 修 報 告

《第3回～第5回》

「いまさら聞けない居宅サービス加算」シリーズ

令和6年度介護報酬改定では、介護予防や自立支援重度化防止に資するケアマネジメントの強化が求められ、居宅サービスにおいても多岐にわたる加算が新設され、算定要件においても法令遵守がより求められています。

今回は、有効な加算算定による利用者の自立支援につなげることを目的とし、各居宅サービスにおける職能団体・職員団体様を講師に迎え、加算算定による効果について改めて解説いただきました。

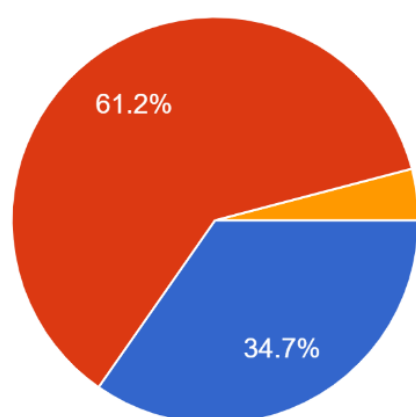
アンケート結果より

《満足度》

- 満足
- やや満足
- やや不満
- 不満

第3回

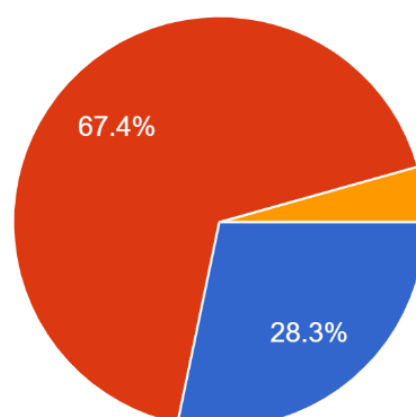
【訪問看護・訪問リハビリテーション】



満足度 95.9%

第4回

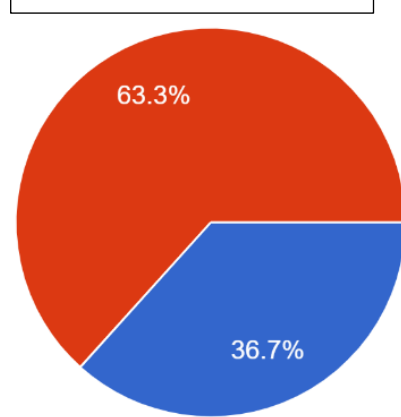
【通所介護・通所リハビリテーション】



満足度 95.7%

第5回

【短期入所生活介護・短期入所療養介護】



満足度 100%

アンケート結果より、満足度は驚異の平均97.2%になっています。皆さんのこの研修への関心度と、目的達成に向けての熱意が伝わってきます。

満足度の内容について、第3回では、「複雑な加算の算定方法が理解できた」、「訪問看護、訪問リハの加算の多さ、訪問介護、訪問入浴の加算の少なさが分かった」、「専門的な知識を得ることができた」、「リハビリ関連の加算のことがわからなかったのが良かった」

第4回では、「加算の算定要件の確認ができた。事業所内での勉強会や新人の指導にも活用できる内容だった」、「ケアマネジャーも加算が実際どのように効果が出ているか等の確認が必要なが分かった」、「現場で働いている方の話が聞けて良かった」

第5回では、「ショートの子の加算、老健の加算の説明が理解しやすかったです」、「ロングショートステイのことが詳しく分かってよかったです」、「加算でその施設の得意分野を確認するとあった。今までその視点がなかったのが、今後は各施設の加算に注目して、利用者にあった施設の提案をしていきたいと思いました」

このようにアンケート結果からも、今までわからなかったことを学びすっきりしたことで、今後の業務に生かせるという意見が多かったです。ぜひ、これからも自己研鑽のツールの一つとして、この研修会を活用してください！！

【研修申し込みQRコード】



研 修 予 定

第6回（10月）～第9回（1月）の研修予定の内容を紹介します。

皆様のご参加をお待ちしています！！

【研修申し込み URL】

<https://mie-cma.com/aboutus/2025%e5%b9%b4%e5%ba%a6%e7%a0%94%e4%bf%ae%e4%bc%9a%e4%b8%80%e8%a6%a7/>

第6回『問題解決しない事例検討会』

開催日時: 2025年10月4日（土）13:00～16:00（受付開始 12:45～）

開催方法: Zoom を活用したオンライン研修会 定員 200名

講師: 田中 和彦 氏（日本福祉大学 福祉経営学部 准教授）

支援困難事例とは、誰にとって何が困難なのでしょう。

「目の前に困っている人」がいて、かわりに行き詰まりを感じた時、誰とどのように連携するにせよ、「問題解決」を目指すのではなく、その方がどんな人なのかを理解し、共通理解を深めていくことが必要です。『問題解決しない事例検討会』の目的は、本人に対する理解を深めるための仮説を立て、その人を捉え直すことにあります。ハンドブックもダウンロードできますので、参考資料としてご活用ください。



第7回「潜在ニーズを代弁できるケアマネジャーの洞察力の強化について」

開催日時:2025 年 11 月 15 日(土) 13:00～15:00(受付開始 12:45～)

開催方法:**集合研修** 三重県社会福祉会館 3 階 講堂(三重県津市桜橋 2-131) 定員 50 名

講師:山下 勝巳 氏(株式会社 山勝ライブラリ)

洞察力とは、物事の本質を見抜く力を指します。

ケアプランに必要なのは「利用者のニーズが満たされているか」という視点です。私たち介護支援専門員がかかわる方の中には、障害や病気を抱え、自分の思いを訴えることが難しい方も少なくありません。その方たちのニーズを的確に理解し、ケアプランに反映していくためには洞察力が欠かせません。また、コミュニケーションの向上や信頼関係の構築にも洞察力は大いに役立ちます。本研修を通して、さらなる学びを深めましょう。

「
洞
察
」



第8回「施設ケアマネジメントの本質を学ぶ」

～施設ケアマネジメントの手引きを活用して～

開催日時: 2025 年 12 月 6 日(土) 13:00～15:30 (受付開始 12:45～)

開催方法:**集合研修** 三重県社会福祉会館 3 階 講堂(三重県津市桜橋 2-131) 定員 50 名

講師:大野 知之 氏(日本介護支援専門員協会介護保険施設等部会 部会長 /社会福祉法人 桜コミュニティ理事/

特別養護老人ホーム さくらスマイル施設長)

「施設ケアマネの研修会が少なくて … 」という声を受け、三重県介護支援専門員協会では以前から、年に1回は施設ケアマネジメントの研修会を開催しています。施設の介護支援専門員は各施設に1人なんてこともめずらしくなく、相談相手がいない方もいるはず。そこで、本研修では、日本介護支援専門員協会が作成した「施設ケアマネジメントの手引き」を活用しながら学習するとともに、グループワークを通じて、日頃のケアマネジメント業務における悩みや疑問を共有できる場を設けています。



第9回「本人主体のケアプランとは ～具体的で評価しやすい目標をともに～」

開催日時:2026 年 1 月 31 日(土) 13:00～15:30(受付開始 12:45～)

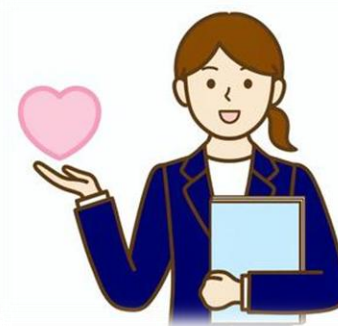
開催方法:**Zoom**を活用したオンライン研修会 定員 200 名

講師:中尾 照美 氏(株式会社 Aile 代表取締役社長)

利用者・家族のためにケアマネジャーが作成するケアプランの目指すところ、一緒に目標達成に向かうためのケアプランとは何かについて、詳しく解説いただきます。日頃、業務に追われながら悩み、よりよいケアプランの作成に奔走しているケアマネジャーにとって、エールとなる内容です。

なお、研修終了後には 15:00～15:30 に質疑応答の時間 を設けています。

☆参加申し込みにつきましては準備中ですので、しばらくお待ちください。



事務局からのお知らせ

2025 年度のケアマネ総合相談スーパーバイザー派遣事業がスタートします。日頃の業務で「これで合っているのかな」「同じ悩みを持っている人はいないかな」と感じることはありませんか。当協会では、経験豊富なアドバイザーへ相談できる場をご用意しております。11 月頃より準備でき次第ホームページでご案内いたします。

編集あとがき

暑さの厳しい夏を乗り越え、皆さま本当にお疲れさまでした。日々の業務に追われ、気づけば心も体もヘトヘト…そんな時は、ほんの少し立ち止まって深呼吸してみませんか。好きな音楽を聴く、季節の果物を味わう、誰かと笑い合う——そんな小さな楽しみが、明日への活力になります。介護支援専門員の仕事は大変ですが、その分、人を笑顔にできるやりがいがあります。仲間一人ではありません。協会も皆さんと共に歩んでいます。どうぞご自身をいたわりつつ、一緒に元気に進んでまいりましょう♪♪



一般社団法人

三重県介護支援専門員協会